

令和元年度 広域農林水産業振興の取組について

令和元年12月14日
広域産業振興局農林水産部



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西広域農林水産業ビジョン(H25年11月策定)のポイント

関西農林水産業の現状認識

【現状と特徴】		
多様な農林水産物	歴史と伝統ある食文化	大消費地が内在
【課題】		
所得の減少、不安定化	就業者の減少、高齢化	生産基盤の弱体化

将来像の実現に向けた6つの戦略(今後10年)

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大 食育による啓発、学校給食での利用促進、直売所間の連携促進等により、エリア内農林水産物の広域圏内での消費拡大を推進
戦略2 食文化の海外発信による需要拡大 観光・文化振興分野と連携し、食文化と農林水産物をセットにしたプロモーション、訪日外国人を農山漁村に誘致すること等を通じ、関西食文化とそれを支える農林水産物の素晴らしさをPR
戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大 広域内の高品質で競争力ある農林水産物と加工品について、スケールメリットを活かした効果的な情報発信、プロモーションにより、国内外に販路を拡大
戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争力の強化 府県市域を越えた農林水産業と異業種・異分野とのマッチング等により、6次産業化、農商工連携をすすめ、域内農林水産物を活用した新たな商品開発と販路開拓を促進
戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保 農林水産業に関する就業相談会、各府県農業大学校の連携、林業大学校の広域での活用等により、後継者はもとより、都市住民の新規参入、法人経営体への就業促進等、多様な就業者を育成・確保
戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全 農山漁村の魅力や多面的機能のアピール、市民農園等のあらゆる空間での実践の促進により、食と農林水産業への理解の醸成、都市と農山漁村の交流等につなげ、農山漁村の活性化・多面的機能の保全

関西農林水産業が目指す将来像(20~30年後)

歴史と伝統ある関西の食文化を支える農林水産業 <ul style="list-style-type: none"> 食文化は関西のアピールポイント 多様な農林水産物の域内外への供給を強化・拡大 食文化の海外発信により需要を拡大 関西の食文化と域内外の消費を支える農林水産業へ	異業種と連携した競争力ある農林水産業 <ul style="list-style-type: none"> 商工業や医療・福祉等、多様な産業との連携 大学等研究機関との連携 6次産業化の推進 企業等の参入促進 付加価値の高い商品開発や国内外への販路拡大へ
都市と共生・交流する活力溢れる農林水産業・農山漁村 <ul style="list-style-type: none"> 直売所やマルシェ、観光農園、農家民宿等により安全・安心な食材提供 グリーンツーリズムや市民農園等の推進 都市部からの移住・定住 都市と農山漁村が互いの魅力を分かち合う関係へ	多面的機能を発揮する関西の農林水産業・農山漁村 <ul style="list-style-type: none"> 水源かん養、国土保全、景観形成等、様々な役割 都市農業においては緑地空間の提供等 多面的機能は都市を含む全ての住民が享受 府県市民が多面的機能の認識を共有し、基盤の保全へ

ビジョンの実現に向けた関西広域連合と構成府県市の役割

戦略の推進にあたっては、関西広域連合はシナジー効果が見込まれる事業など、その枠組みにおいて実施可能な範囲で役割を果たし、各地域の特徴・実情を踏まえた事業は個々の構成府県市が取り組む

令和元年度事業の概要

(基本方針)

関西広域連合では、各構成府県市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を十分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、府県市域を越えた行政組織であるという新たな視点と立場から、農林水産業を成長産業として位置付け、関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興する。

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大

- 1 「おいしい！KANSAI応援企業」の登録
- 2 学校への特産農林水産物利用促進のための啓発
- 3 直売所の交流促進

戦略2 食文化の海外発信による需要拡大

「関西の食リーフレット」等の活用

戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大

- 1 国内外への販路拡大につなげる効果的な情報発信
- 2 事業者向け食品輸出セミナーの開催

戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争力の強化

府県市を越えた6次産業化や農商工連携の推進

戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保

農林水産就業支援情報の発信

戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全

- 1 「都市農村交流サイト」の運営
- 2 都市農村交流のための人材育成

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(1)

「まず地場産・府県産、なければエリア内産」を基本に、特産農林水産物のエリア内での消費拡大を図る。

1 「おいしい！KANSAI応援企業」の登録

(ア)「おいしい！KANSAI応援企業」の登録

広域連合が取り組む地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を、“おいしい!KANSAI応援企業”として登録し、社員食堂や職員食堂でのエリア内特産農林水産物を使った料理の提供を通じて、消費拡大を図る。

参考)登録数 118(R元.10月末現在)

(イ)「おいしい！KANSAI応援登録企業」紹介ページの作成

登録企業の社員食堂のメニュー紹介をはじめ、CSR活動、社風、社員の声などを広域連合ホームページで紹介する。

参考)ホームページ掲載数 58(R元.10月末現在)

主な登録企業

- ・西日本電信電話株式会社
- ・関西電力株式会社
- ・(株)近鉄百貨店
- ・(株)紀陽銀行
- ・ホテルアバローム紀の国
- ・和歌山大学 ほか



株式会社カゴメ
大阪府中央区中津橋五丁目1番1号

1995年、大阪府で創業された株式会社カゴメ。家庭用からゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツなど幅広い分野で活躍。最近、東京・札幌など6つのエリアに拠点を移転し、本社を大阪府守口市に、工場を大阪府守口市、奈良県橿原市、徳島県徳島市、2016年11月現在、全国に10以上の工場があります。

「ナトリウムイオン電池」や「有機ELディスプレイ」など、グローバルに展開しているハイテク産業。創業以来、大阪の地場産品を積極的に取り入れる取り組みを行っています。

2015年にリニューアルされた社員食堂でも関西エリアの特産品を積極的にメニューに取り入れており、今年「おいしい!KANSAI応援企業」に登録したいと考えています。登録がゲームメーカーの社員食堂をご利用いただけます！

画像をリサイズすることができます。



大阪府中央区にあるカゴメビル。2014年には、創業50周年を記念して、毎月11日はゲームメーカーの社員食堂に「おいしい!KANSAI応援企業」の紹介ページを掲載し、この日の限定メニューを提供しています。また、この日の限定メニューは、カゴメビル内の「おいしい!KANSAI応援企業」の紹介ページに掲載されています。

「おいしい!KANSAI応援企業」紹介ページ

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(2)

2 学校への特産農林水産物利用促進のための啓発

(ア) 出前授業による特産農林水産物の啓発

生産者団体等が実施する府県域を越えた出前授業の取組を促進するため、広域連合が受け入れ希望校とのマッチングを実施する。

参考)実績	R元	8小学校で実施(R元.10月末現在、提供校を含む)
	H30	10小学校で実施
	H29	8小学校で実施
	H28	8小学校で実施
	H27	7小学校で実施
	H26	7小学校で実施
	H25	2小学校で実施



JAIによる出前授業風景

(イ) 学校給食への域内特産物の提供

拡充

学校給食における府県域を超えた地産地消を進めるため、モデルとなる構成府県市内小学校等へ域内特産物を提供する。

参考)実績	R元	6校で実施(R元.10月末現在)
	H30	20校で実施

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(3)

3 直売所の交流促進

関西広域連合によるマッチング

直売所の集客の増加とエリア内特産農林水産物の消費拡大を図るため、広域連合が直売所間交流のマッチングを行う。

参考)実績	R元	6直売所で 7回実施(R元.10月末現在)
	H30	9直売所で17回実施
	H29	7直売所で16回実施
	H28	7直売所で14回実施
	H27	9直売所で10回実施
	H26	7直売所で 8回実施



直売所交流によるイベント

戦略2 食文化の海外発信による需要拡大

関西全体の食文化のすばらしさを高品質で多様な農林水産物・加工品の情報と合わせて海外に発信することにより、需要の拡大につなげる。

「関西の食リーフレット」等の活用

関西の農林水産物・加工食品及び食文化の情報を、リーフレットやホームページを通じて海外へ発信する。

参考)実績	R元	リーフレット増刷	5,000部
	H30	同上	5,000部
	H29	同上	6,000部
	H28	同上	6,000部
	H27	同上	3,000部
	H26	リーフレット作成(英語、中国語)	6,000部



関西の食 リーフレット



関西の食文化

「和食」と「関西の食文化」

日本食は、いまや世界中で注目されており、2013年12月、国際連合教育科学文化機構(ユネスコ)の無形文化遺産に「和食：日本人の伝統的な食文化」として登録されることにもなりました。和食とは、個別の料理そのものを指すものではなく、これまでの日本人が築き上げてきた食に関する知恵・工夫・習慣など、有形無形のものを含んだ概念であり、文化ともいえます。

現在ほど科学や技術が発展していなかった時代、日本人は、自然には神が存在するとの考えから、「自然を尊重する精神」を育んできました。先人たちは、自然と共に生きること、つまり、四季の変化をうまく活用しながら生き抜いてきた「食」に関する知恵の数々が、食文化として各地域に残り、それが子孫に代々伝えられ発展させてきたことによって、現在の和食という文化があるものといえるでしょう。

千有余年にわたり、日本の中心地として栄えた関西には、商業や物流の発展とともに、全国各地から様々な食材等が集まるようになり、関西の食文化は上方の味として洗練された料亭文化や茶屋文化に発展していきました。その集大成といえる「京料理」には、旬の食材を活

関西の田園風景

関西の食文化 ホームページ

戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大

関西の魅力ある農林水産物の効果的な情報発信や、輸出に向けての機運醸成を図るセミナーを開催し、国内外への販路拡大につなげる。

1 国内外への販路拡大につなげる効果的な情報発信

構成府県市が実施する海外プロモーションなどのPRイベントで「関西の食リーフレット」を配布するなど、情報発信を行う。

参考)実績	R元	リーフレット	1,200部配布(R元.11月末現在)
	H30	同上	4,400部配布
	H29	同上	6,600部配布
	H28	同上	3,900部配布
	H27	同上	5,100部配布

2 事業者向け食品輸出セミナーの開催

食品輸出の機運を醸成し、意欲のある事業者等に有益な情報を提供するため、食品輸出セミナーを開催する。

令和元年度 食品輸出セミナー

日時: 令和2年2月7日(金)13:00~16:00

場所: 関西大学梅田キャンパス 8階ホール

参考)実績	H30	200名参加
	H29	200名参加
	H28	90名参加

農林水産部-産品販売サイト等のご案内

関西広域連合構成府県市の産品を購入できるサイトのご案内です。この機会に、是非各地の産品を購入していただけたらと思います。

その他、各府県市の自産の産品や食の情報・イベント情報等をお知らせするサイトもご覧ください。

1.産品販売に関するページ

各府県市の産品を直接購入できるサイトのご案内です。

- 兵庫県「兵庫県産物協会」
- 和歌山県「ふるさと和歌山(わいわい和歌山)」
- 鳥取県「鳥取の「食」買いたい!食べたい!」
- 徳島県「あるなつと徳島」
- 摂津市「摂津の特産品ネット農産物Eメール館」

2.「ブランド産品」に関するページ

各府県市の自産のブランド産品を紹介するサイトのご案内です。

- 滋賀県「滋賀のおいしいコレクション」

販売促進サイト



食品輸出セミナー

戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争力の強化

広域での農林水産業と異業種・異分野とのマッチング等により、府県域を越えた6次産業化や農商工連携を促進し、新たな商品開発や販路開拓を進めることで競争力の強化を図る。

府県市を越えた6次産業化や農商工連携の推進

農林漁業者が、府県域はもとより、必要に応じて府県域を越えた商工業者とマッチングできるよう、府県市が実施する異業種交流会等の開催を広域連合のホームページ等に掲載し、広報する。

参考)実績 H30 4件掲載
H29 5件掲載

The screenshot shows the website of the Kansai Regional Union (関西広域連合). The page title is '6次産業化や農商工連携の推進'. The navigation menu includes '関西広域連合とは', '広域連合委員会', '広域連合議会', and '計画・ビジョン'. The main content area features a section titled '6次産業化や農商工連携の推進' with several links: '構成府県市の6次産業化支援の取組', '令和元年度 異業種交流会等の開催情報 (10/10更新)', and '6次産業化研究施設のご案内'. Below this, there are three highlighted boxes: '滋賀県 「滋賀県6次産業化研修会」の参加者を募集!!', '京都府 京都府農業会議 (農業ビジネスセンター京都)', and '大阪府 大阪産 (仮) 6次産業化サポートセンター 大阪府大阪産 (仮) 6次産業化支援サイト'.

戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保

構成府県市の農林水産就業支援情報を広く発信し、人材の育成・確保につなげる。

1 「関西広域連合農林水産就業ガイド」の作成

構成府県市の農林水産業への就業支援情報を掲載した「就業ガイド」を作成し、各府県市が実施する就業相談会やホームページでPRする。

参考)実績 H30 新・農業人フェアや移住フェアなど、25のイベントで情報発信

2 「農業大学校ガイド」の作成

各農業大学校の特徴や専攻コースなどを掲載した「農業大学校ガイド」を作成し、府県間で情報を共有するとともに、ホームページ等で広く周知することで、人材の相互受入を進める。

3 「農林水産就業促進サイト」の運営

農林水産業への就業希望者に各府県市の就業支援情報を広く発信する。



農林水産就業促進サイト（関西で農林水産業を始めたい方へ）

関西広域連合では、構成府県市が実施する農林水産業への就業相談会の開催情報や研修制度、補助事業の概要などの就業支援情報を集約した「就業ガイド（農業版、林業版、漁業版）」及び「農林水産就業促進サイト」を作成しましたので、情報収集にご利用下さい。

各種就業情報はここから

- ▶ [農業の情報（就農促進サイトへ）](#)
- ▶ [林業の情報（林業版就業促進サイトへ）](#)
- ▶ [漁業の情報（漁業版就業促進サイトへ）](#)

戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全

地域の活性化と多面的機能の保全を図るため、情報発信やイベントの開催等を通じ、都市農村交流活動を促進する。

1 「都市農村交流サイト」の運営

構成府県市の優良事例紹介をはじめ、域内の交流施設等を紹介するサイトを広域連合ホームページ内に開設し、情報を発信する。

2 都市農村交流のための人材育成 **拡充**

(ア)アドバイザー人材バンクの構築と派遣

都市農村交流に関する知見を有する人材を登録し、地域からの要請に応じ、アドバイザーを派遣する「アドバイザー人材バンク」を構築する。また、アドバイザーを活用して構成府県市において実践した優良事例を都市農村交流サイトに掲載し、活用を促進する。

参考)R元 派遣予定 3名(滋賀県、和歌山県、徳島県)

(イ)現地検討会の開催

構成府県市における都市農村交流優良事例の発表や、地域課題の解決に向けた現地見学と意見交換を行う「現地検討会」を開催する。

参考)R元 開催日 R元.11.7～8 (2日間)
開催場所 兵庫県加西市、加東市および神戸市



現地検討会